

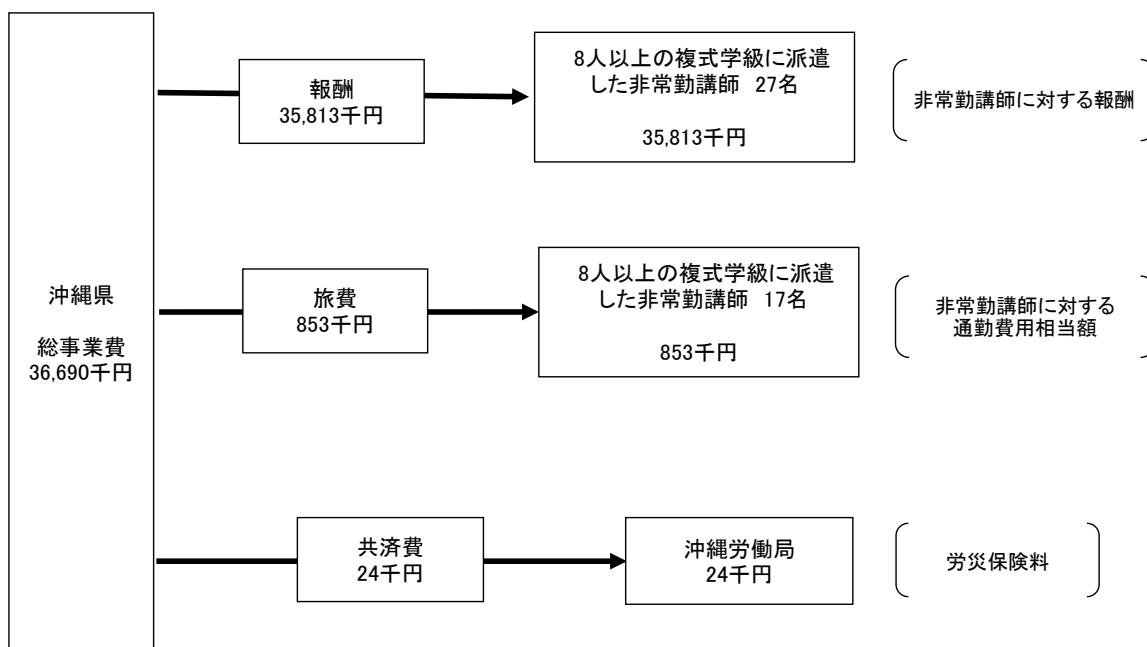
## 令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	226	複式学級教育環境改善事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア		
担当部課名	教育庁学校人事課	事業実施(予定)年度	H29 ~ R3 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	個々の学力に応じたきめ細かな指導を実現し、児童の「確かな学力」の向上のため、複式学級を有する小学校へ学習支援員としての非常勤講師を派遣する。						
効果発現年度	■当年度    □後年度(    年度)						
実施方法	■直接実施    □委託    □補助    □負担    □その他(    )						
予算額・執行額 【単位:千円】			H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	H30年度(繰越)	R1年度
	予算の状況	(a)当初予算額	78,436	0	68,632	0	58,193
		(b)予算現額	55,521	0	40,573	0	58,193
		(c)増減額(b-a)	▲22,915	0	▲28,059	0	0
		(d)前年度繰越額	—	—	—	—	—
		A.計(b+d)	55,521	0	40,573	0	58,193
	B.執行済額		51,178	0	32,548	0	36,690
	うち交付金充当額		40,942	0	26,038	0	29,352
	C.次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		92.2%	—	80.2%	—	63.0%
予算の状況の説明		執行率は63.0%であり、不用が生じた主な理由は、派遣対象学級数の減及び未派遣が生じたことに伴うものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	非常勤講師の派遣		目標	41学級	42学級	33学級	33学級
			実績	36学級	40学級	27学級	27学級
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>非常勤講師希望者がいなかったことによる未派遣学級が6となっており、派遣率は81.8%となっている。</li> <li>非常勤講師の派遣によって、きめ細かな指導の実施や教材準備・研究の改善、児童の理解・集中力の向上等、学習環境の改善が図られている。</li> </ul>						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(23年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(R2年度)
	非常勤講師配置校における学力到達度調査平均正答率が、県平均値を超える割合(全学年、全教科)100%	目標	—	—	100%	100%	100%
		実績	—	71.4%	100%	71.4%	—
	【H29以前の成果目標】 8名以上の複式学級において教育環境が改善された割合	目標	—	100%	—	—	—
		実績	—	95.2%	—	—	—
	【参考指標】 8名以上の児童で構成される複式学級のうち、非常勤講師が派遣されている学級の割合	目標	—	100%	100%	100%	100%
		実績	—	95.2%	81.8%	81.8%	—
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>学力到達度調査平均正答率の成果目標については、小3(算数)と小5(算数)が県平均値を下回ったため、71.4%となり未達成となっている。</li> <li>※学力到達度調査の学年・教科は、小3国語・算数、小4算数、小5国語・算数・理科、小6算数。</li> <li>非常勤講師が未派遣となった学級が6学級あったため、非常勤講師の確保が課題となっている。</li> </ul>						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常勤講師の採用について、離島・へき地においては、教員免許保持者の絶対数が少なく、人材の確保が困難である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員免許保持者の絶対数が少ない離島・へき地においては、過去に学校で臨任や非常勤講師等での勤務経験者や、地域に住む退職教員の情報だけではなく、地域と連携を図り、転入してくる人材のうち教員免許保持者であるかといった情報を、積極的に収集していく必要がある。</li> </ul>
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常勤講師の採用について、より地域と連携を図り、転入して来る人材の情報を積極的に収集していくため、以下の取り組みを実施する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務所ホームページでの臨任等募集</li> <li>・学校からの情報提供</li> <li>・ハローワークへの求人募集</li> <li>・本務教員の配偶者(教員免許保持者)への依頼</li> <li>・教員候補者選考試験の応募票に任用に関する情報提供可否欄を設け情報収集</li> <li>・県内大学向けに臨任等募集の公告掲載依頼</li> <li>・非常勤講師等の募集開始時期を例年より早めに設定</li> </ul> </li> </ul>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
36,690	36,690	29,352	7,338	0	0	0



資金の流れ、費目、点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○報酬の支払先である学習支援員は、すべて8人以上の複式学級を有する小学校に配置されており、支払先として妥当であり、かつ事業目的に即したものであった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

## 令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	236	離島読書活動充実事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-5-(2)-ア			
担当部課名	教育庁生涯学習振興課	事業実施(予定)年度	H27 ~ R3 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充 Ⅲ-9		
事業内容	図書館未設置の離島町村の読書環境の格差の改善を図るため、遠隔地サービスに使用する図書の増冊や移動図書館の開催、一括貸出、読書活動推進に係る講演会を実施する。							
効果発現年度	■当年度    □後年度(    年度)							
実施方法	■直接実施    □委託    □補助    □負担    □その他(    )							
予算額・執行額 【単位:千円】			H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	17,641		13,390		18,647	
		(b)予算現額	17,641		13,390		18,647	
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0	
		(d)前年度繰越額						
		A. 計(b+d)	17,641	0	13,390	0	18,647	
	B. 執行済額		17,263		12,776		17,857	
	うち交付金充当額		13,810		10,220		14,285	
	C. 次年度繰越額		0		0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		97.9%	#DIV/0!	95.4%	#DIV/0!	95.8%	
予算の状況の説明		・執行率は毎年95%以上であり、概ね計画的に執行できている。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		
	館外協力用図書の購入5,941冊	目標	6,000冊	7,450冊	5,941冊	5,941冊		
		実績	7,010冊	7,617冊	5,941冊	5,957冊		
	図書館未設置離島町村11町村において移動図書館35回	目標	-	-	19回	35回		
		実績	35回	35回	19回	35回		
	図書館未設置離島町村11町村への一括貸出140件	目標	-	-	82件	140件		
		実績	109件	147件	87件	119件		
	読書活動推進に係る講演会3回	目標	-	-	3回	3回		
		実績	2回	2回	2回	3回		
学校図書館等訪問24校	目標	-	-	-	24校			
	実績	-	-	-	24校			
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書購入冊数、移動図書館、講演会の開催及び学校図書館等の訪問については目標を達成した。</li> <li>・一括貸出については、目標を達成出来なかった。</li> <li>・アンケートの分析や教育委員会など関係機関との連携により地域のニーズにあった活動を行うことができた。</li> </ul>							
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(〇〇年度)	
	利用者が、身近なところで読書ができる環境が整っていると感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。		目標	-	-	80%	80%	-
			実績	-	-	85.7%	94.8%	-
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標である「地域住民が身近なところで読書ができる環境が整っていると感じるか」のアンケート結果については、実績が94.8%で達成となった。</li> <li>・地域主体の読書サービス実現のため、積極的にアンケート調査を行い、地域のニーズの把握に努め、移動図書館実施の際に意見を反映することが出来た。</li> <li>・より多くの住民に参加してもらうため、沖縄美ら海水族館など様々な関係機関と連携し、集客増に努めた。</li> </ul>							

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・離島、へき地に対する子ども向け教育普及プログラムを行う様々な機関(沖縄美ら海水族館、沖縄こどもの国など)と連携し、各開催地においてワークショップ等を実施したことで集客増となったが、昨年度から改善したいとしている「より幅広い年齢層に対してのアプローチ」については、まだ改善の余地があるため、より検討を深める必要がある。</li> <li>・地域主体の読書活動を推進するため、地域の活動の拠点となっている学校図書館や公民館図書室との連携を深める必要があるが、借用に関して慎重な地域があり、十分に活用できていないケースも見られることから相互理解の上でさらなる連携を深める必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動図書館においては、子ども向け教育普及プログラムはもちろん、大人向けの取り組み(健康・医療・子育て等)も積極的に取り入れ、更なるニーズの拡大を図る必要がある。</li> <li>・地域の読書活動の拠点である学校図書館や公民館図書室の訪問や業務相談等を通して、離島の読書環境を整備する必要がある。</li> </ul>
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者アンケートや地域の意見等を参考に大人向けの取り組み(健康・医療・子育て等)も積極的に実施し、利用者層の拡大を図る。</li> <li>・学校図書館や公民館図書室の訪問や業務相談等を実施し、地域が主体的に読書活動を行うことができるような環境整備の支援を行う。</li> </ul>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)																									
総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費																			
17,857	17,857	14,285	3,572	0	0	0																			
<table border="0"> <tr> <td rowspan="3">                 沖縄県                  交付対象事業費                  17,857千円             </td> <td>                 報酬 7,206千円                  共済費 1,204千円             </td> <td colspan="5">                 ( 図書館情報処理員1名、奉仕員1名、事務補助員2名の報酬、社会保険料等 )             </td> </tr> <tr> <td>                 需用費 8,771千円             </td> <td colspan="5">                 ( 館外協力用図書(消耗品図書)の購入5,957冊 沖縄教販 )             </td> </tr> <tr> <td>                 報償費 18千円                  旅費 658千円             </td> <td colspan="5">                 ( 司書教諭研修会等に係る報償費及び旅費                  図書館情報処理員1名、奉仕員1名、事務補助員2名の通勤手当 )             </td> </tr> </table>							沖縄県 交付対象事業費 17,857千円	報酬 7,206千円 共済費 1,204千円	( 図書館情報処理員1名、奉仕員1名、事務補助員2名の報酬、社会保険料等 )					需用費 8,771千円	( 館外協力用図書(消耗品図書)の購入5,957冊 沖縄教販 )					報償費 18千円 旅費 658千円	( 司書教諭研修会等に係る報償費及び旅費 図書館情報処理員1名、奉仕員1名、事務補助員2名の通勤手当 )				
沖縄県 交付対象事業費 17,857千円	報酬 7,206千円 共済費 1,204千円	( 図書館情報処理員1名、奉仕員1名、事務補助員2名の報酬、社会保険料等 )																							
	需用費 8,771千円	( 館外協力用図書(消耗品図書)の購入5,957冊 沖縄教販 )																							
	報償費 18千円 旅費 658千円	( 司書教諭研修会等に係る報償費及び旅費 図書館情報処理員1名、奉仕員1名、事務補助員2名の通勤手当 )																							

資金の流 れ、費 目 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○図書購入は入札で行っており妥当と考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、額の確定時に支出等に関する書類により確認したが適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	